

第13回 旭川流域連絡協議会（幹事会）議事録

日時：平成16年2月10日（火）14：00～16：00

場所：建部町 サンタケベ 2階研修室

参加者：岡山市、瀬戸町、赤坂町、御津町、建部町、加茂川町、賀陽町、久米南町、中央町、旭町、落合町、北房町、久世町、勝山町、富村、美甘村、新庄村、八束村、川上村、岡山県土木部河川課、岡山県土木部河川開発課、岡山地方振興局、建部建設事務所、真庭地方振興局、高梁地方振興局、東備地方振興局、岡山河川事務所

打合せ事項

配付資料の議事次第に基づき、以下の事項について打ち合わせを行った。

1) 平成15年度中間決算報告

了承。但し、協議会までに監事の監査を受ける。

2) 平成15年度 活動報告

・「旭川流域における水防災に関する研究会」結果報告

配付資料により報告。

研究会成果の公表について、研究会の内容自体は岡山河川事務所ホームページの流連ページなどで公表を行っていく。但し、研究会後実施したアンケート結果については、行政だけの限られた範囲のアンケート結果であり、直ちに公表した場合、行政が防災に対して不安を抱えているととられる可能性がある。アンケート結果について、個々の問題をどうするかなど議論し、今後の方針を出した段階で、地域住民へのアンケートとも併せて公表してはどうか、また、アンケート結果は基本的に公表すべき、という意見もあった。各々内部で検討を行い、第13回協議会にかけることとする。

・流域交流シンポジウム報告

配付資料により報告。

3) 平成16年度予算について

事務局案を了承。

4) 平成16年度活動予定について

・地域コミュニティ防災体制構築に向けて

事務局案について、地域コミュニティ防災体制構築の必要性を確認し、了承。

一方で、防災研究会でも問題提起された河積確保のための浚渫や樹木伐採等のハード対策は、各自治体共通の要望であることが確認された。

平成16年度の活動として、ハード対策を進めるための討議を重ねることを明記するとともに、今後自治体の声を県や国にあげていくため、協議会において流連会長からの提案という形をとるなど、流連として働きかけを行っていく。

・AR-NETとの連携

AR-NETから「来年度の活動予定として、例年通り一斉水質調査、流域交流シンポジウム（勝山町開催予定）、体験交流合宿を行う。また、コイヘルペスの監視体制づくりとして、流連と協力を行っていきたい。」との説明。

また、旭川流域一斉水質調査については、流連として協力を行っていくことを確認。

5) その他

- ・全国川サミット報告
加茂川町より報告。

- ・森林税の概要について
岡山県土木部河川課より概要説明。

- ・コイヘルペス問題等対応の体制づくりについて
事務局案に了承。

- ・「水夢きっず」水辺で実現したい夢の募集パンフレット（情報提供）

- ・今年度のように年度毎の流連としての成果をまとめた冊子の作成
了承。

連絡事項

- ・第13回協議会は、平成16年2月25日（水）14：00より建部町文化センターで行う。